

性的少数者（セクシュアルマイノリティ）とは同性愛・両性愛・性同一性障害・性分化疾患など「性」のあり方が多数派でない人のことで、家族や周囲の無理解人権侵害、就職・結婚の壁、自殺願望など、当事者は生きづらさを抱えています。

一昨年の質問で、性的少数者の理解と支援のため、市にも担当の所管、相談窓口や研修の必要性があると訴えました。今回の質問で今年度から男女共同参画課が「性的少数者に関することを人権問題の一つ」とらえ、課題の整理に取り組み」ことを確認しました。

また、男女共同参画センターでのハーモニイ相談の例示に、「このころとからだの性に違和感がある」を追加し、相談も受け入れる

## ようやくスタート 性的少数者に関する市の取り組み

と聞きましたが、女性専用相談であることがネックです。今後の相談・広報体制の拡充を求めました。また、教員向け研修項目にはこれまでありませんでしたが、今後「管理職や人権教育担当者の研修に性的少数者への理解を加えることを検討する」との答弁があり、少し前進です。

すべての教員職員及び市民の理解が深まることで、当事者の人権が尊重され、あたりまえの幸せを手に入れることのできる社会になってほしいものです。



### 山田京子

- ・ 今年度担当する委員会等
- ・ 教育未来委員会
- ・ 市議会広報委員会
- ・ 姉妹友好都市議員連盟会計幹事
- ・ 会派会計

若葉区の市民から、「隣地が都市計画道路予定地と聞いているが、空き地にしておくのはもったいないのでは？」という問い合わせがあり、市内にはほかにも活用すべき用地があるのでないかという疑問がわきました。

現時点で当面整備予定のない道路用地を尋ねると、約5万4千㎡あるとのこと、QVCマリオンフィールド3・6個分に相当します。これを活用しない手はありません。

借りるための許可基準は「まちづくりや賑わい創出となり、公共的公益的な利用で管理上支障にならないこと」かつ「的確に管理できる団体が対象」とのことでした。いま駐車場にしてる用地では、年額1050円/m<sup>2</sup>、広場は全額免除です。

## 計画の進まない道路用地 もっと活用を！

用地は何もせずとも管理費がかかるわけですから、地域の活性化に役立ちそうなところは、少なくとも市政だよりに掲載するなど、もっと積極的に広報し活用すべきと主張しました。

また、昭和40年代前半ころから計画が始まった都市計画道路は、社会の変化にともない未整備区間の見直しが進んでいます。その進捗を尋ねると、「平成20年の交通実態調査の結果を基にした検証で、未着手路線全体延長の約2割が廃止対象となる。具体的な路線については調整中で、年内には市民へまとめを示して意見を伺う」との答弁でした。時代の変化に対応した道路のあり方を、市民と共に見直していく時期にきています。

## 一般質問から

### 空き家の状況は？

総務省の2008年統計調査によると、千葉市内の住宅総数42万9100戸のうち、空き家は5万4200戸（空き家率12.6%）。また千葉県は都市部の空き家実態把握のため、本年2月、市川・柏・千葉を対象に、利用形態、空き家継続期間、空き家化の原因、今後5年間の活用意向などの調査をしました。

しかし実態把握というには程遠く、調査できたのは千葉市内4カ所で16件のみ。ただ、空き家調査は、所有者の特定が難しいこと、また一見空き家と思われる住宅は高齢者の独り暮らしが多く、昼間は病院やデイサービスの利用で外出しており、空き家かどうかの最終判断に時間がかかる、といった困難さがあります。

## 空き家の有効活用を 考えよう！



### 市内空き家対策は？

これまでほとんど対策はなかったと言えます。ただ一つ、移住・住み替え支援機構の「マイホーム借り上げ制度」があり市HPに掲載されていますが、現在市内の登録物件はありません。本腰を入れた周知もないので当然の結果でしょう。

### これからの有効活用に向けて

空き家活用は「住まい」だけではなくありません。今年度改定される「住生活基本計画」では、子育て世帯への活用などとともに、住宅以外の用途も位置づけています。

地域活動拠点としての活用を、市民活動支援として行っている自治体もあります。市全体に、空き家を有効に活用する機運を盛り上げつつ、まずは空き家の実態を把握し、所有者の意向確認をすることが必要です。

### 湯浅美和子

- ・ 今年度担当する委員会等
- ・ 総務委員会
- ・ 議会のあり方検討協議会
- ・ 少年自然の家事業運営協議会
- ・ 会派幹事長

低線量であっても長期にわたる被ばくの影響は定かではないため、子ども達の健康診断を行うことや、市民が心配に感じる食品の検査を市民サービスとして行うことなどを求めましたが、いずれも一定の安全性は保たれており必要なし、との答弁。

## 放射能対策は これからも重要

べき、また文科省が配布している放射能に関する副読本は、福島原発事故に触れておらず問題、と指摘しました。事故はまだ収束していない、決して対策を緩めてはならない、との思いで取り上げた質問ですが、今議会で放射能対策を取りあげた議員は他にいません。千葉市も議会も、喉元過ぎれば、ということにならないよう、これからも引き続きの対策を求めていきます。